

東部教育事務所通信「誠実・創造・挑戦」

Together

東部TEL0952-30-7218（代）、東部FAX 0952-33-4629
東部HP
<https://www.education.saga.jp/hp/t-kyoikujimusho/>
メール toubukyouiku@pref.saga.lg.jp
第6号 令和5年12月27日（水）発行

「実りの秋」の2学期、各学校でよりよい教育活動を追究するために、校内研究が益々充実・深化したかと思えます。今回は、研究指定事業を受けて実施された研究発表の様子を御紹介いたします。

道徳教育の抜本的改善・充実に 係る支援事業（神埼中学校）

佐賀県では、「特別の教科道徳」が全面実施されたことを受け、学習指導要領を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業づくりに向けて、公開授業や授業研究会を通して研修を深めるための取組をしています。今年度は文部科学省の指定を受け、神埼中学校で11月7日（火）に公開授業が行われました。

「心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成～さまざまな『対話』を取り入れた道徳科の授業と家庭・地域とのつながりを通して～」という研修主題のもと、1年生、2年生の研究授業に小・中学校から30名の先生方が参加されました。授業研究会でも、グループ討議で活発な意見交換がみられ、大変学びの多い会となりました。



TTによる2年生の道徳の授業

【参加者の感想】

○フリートークの時間が良かったです。中学生がどのくらい対話をするのだろうと見ていました。男女も交わり、自分の思いを伝える様子がとても良いと思いました。子どもたちのつぶやきも先生2人が上手に取り上げられ、途中で先生ご自身の思いを伝えられる場面もあり、よい学びだったと思います。（小学校）

○問いかけ、対話の形など、さまざまなことを勉強させていただきました。特に参考になったのは、スライド資料の示し方、対話時のルールや話型、ローテーションでのグループ活動の手立てです。（中学校）

小中連携による学力向上 推進地域指定事業 （芦刈観瀾校）

開校10年目となる芦刈観瀾校では、昨年度から「主体的・対話的で深い学びを実現し、生きる力を育む小中一貫教育～小中一貫教育の充実と『表現活動』を取り入れた学習指導を通して～」を研究主題に授業実践等に取り組まれています。今年度は、10月30日（月）に6年生社会科、11月24日（金）に5年生理科、9年生国語科が公開されました。9年間を見通した「学びの系統表」の活用や、「学びの7本柱」による安心して学べる場づくり、自分の考えをもったり成長を感じたりするための「表現活動」など、小学部と中学部が連携を深め、共通実践されています。

理科の「ふりこ」の授業では、児童は中学部の先生のアドバイスを聞き、条件制御を意識した実験計画を立てたり、考察したりする表現活動を行い、班で協力して問題解決に取り組むことができていました。

小学校プログラミング教育 （東原彦舎中央校）

プログラミング教育が2020年に小学校、2021年に中学校で必修化され、各学校で取り組みが進められています。東原彦舎中央校では、佐賀県教育委員会の研究指定を受けて、「9年間の系統性を意識した『確かな学力』の育成～プログラミング教育の視点を生かして～」を研究主題に授業実践等に取り組まれています。2年目の今年度は11月24日（金）に公開授業が行われました。

公開授業では児童生徒が1人1台端末で課題解決策を構想し、試行錯誤しながら学びを深める姿が見られました。また、9年間の系統性のあるカリキュラムの作成やフローチャートを生かして行動の変容を可視化する取組など、これまでの研究実践の報告がされました。講演では、宮崎大学の小八重智史先生が具体的実践と映像をもとに「プログラミングのできるこ、そのために素地を育てておく大切さ」などについて、お話をいただきました。